

## 2014年3月期 第2四半期決算説明会Q&A

### 【2014年3月期Q2実績、通期見通し】

**Q: 通期見通しを据え置いているが、下期に大幅な増益を見込んでいる背景は何か**

**A:** 北米を中心にモバイルR&D関連の需要を強く見込んでいる。TD-LTE開発の本格化や、LTE-Advancedなど、テーマは数多くある。顧客の設備投資動向によるリスクはあるが、売上拡大とプロダクトミックスにより、収益性の向上を見込んでいる。

**Q: 昨年から顧客サポート人員を戦略的に増加しているが、今後も増える見通しなのか**

**A:** 中長期的なビジネスの拡大に繋がる案件に対しては増強していく。

**Q: 日本市場の縮小は上期で底入れしたのか、下期の回復の見通しは**

**A:** 日本市場は上期の水準がボトムと考えているが、急速な回復は想定していない。顧客の設備投資動向によるリスクはあるが、3Qも上期の傾向は継続すると見ている。

**Q: 2Qは粗利益率が改善しているが、下期もこの水準は継続するのか**

**A:** 2Qは北米のモバイルR&D分野とネットワーク・インフラ分野のビジネス拡大による粗利益の改善が営業利益に寄与した。  
顧客からの価格圧力や、計測の省力化ニーズが強まる傾向にあり、競争も激化している。粗利益率の維持は容易ではないが、下期はビジネス案件を多く見込んでおり、数量効果による利益改善を見込んでいる。

**Q: 下期に期待している中国のTD-LTEライセンス認可が遅れた場合のリスクはどう考えているか**

**A:** ライセンス認可の時期が遅れた場合、モバイル製造ビジネスを中心に影響を受ける可能性はある。但し、TD-LTEは中国以外にもグローバルに導入が広がる見通しであり、中国での認可の遅れにより顧客の開発が突然停滞し、モバイル開発需要に大きく影響することは想定し難い。